

平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査から

水戸市立飯富小学校
令和元年10月1日

本校の平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査の結果と水戸市全体の調査結果をまとめたものです。「進んで学ぼうとする意欲」や「思考力・判断力・表現力」等を育成するために、学校と家庭、地域が一体となった教育活動の充実に向け引き続き御支援・御協力をお願いいたします。

平成31年度(令和元年度)本校の教科の学力状況 ※県の結果は、整数値で公表となっています。また、今年度から

A:知識を問う問題, B:活用する力を問う問題の分類がなくなり, 知識と活用を一体的に問う問題形式になりました。

	国語	算数	本校の総括
飯富小学校	△	△	国語は記述する問題の正答率が低く、「書くこと」において課題がみられる。算数は基本的な問題は理解しているが、文章問題になると正答率が低い。定着を図るためにも、繰り返し学習していくことが必要である。
茨城県	66%	66%	
全国	63.8%	66.6%	

◎ : 全国及び県の平均正答率よりも高い ○ : 全国平均正答率よりも高い △ : 全国平均正答率よりも低い

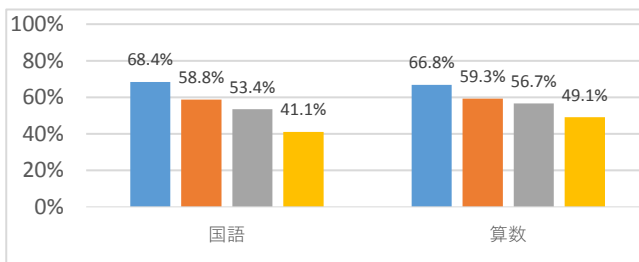
【水戸市全体の調査結果から】

国語	算数
<p>〈成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 全ての領域において、全国平均より高い。 <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 「対象」、「対照」、「対称」などの同音異義語を、文の中で正しく使うこと。 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くこと。 <p>〈改善方法〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 同音異義語を使い分けた短文作りをする学習などを取り入れ、文や文章の中で正しく使うことができるようにする。 調査したことを報告する文章では、調査する目的に応じてどのような理由や事例を挙げて自分の考えをまとめることが適切かを十分考えて書くことができるようにする。 	<p>〈成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 加法と乗法の混合した整数と小数の計算について、計算順序を正しく理解している。 一つの大きさを基にして、全体の大きさを求める方法を記述することができる。 <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数の資料を関連付けて、判断すること。 式及びそれぞれの数値の意味を理解すること。 <p>〈改善方法〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童自身が納得のいく結論を導くことができるようにする。 一つの資料や条件のみから判断したり、答えを求めたりする問題だけでなく、複数の資料や条件から読み解く経験を多く積めるようにする。

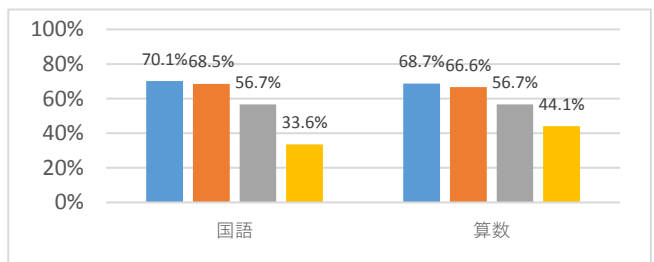
水戸市全体の児童質問紙調査から

◆ 生活習慣や学習習慣の安定が、子供たちの学力向上につながります！

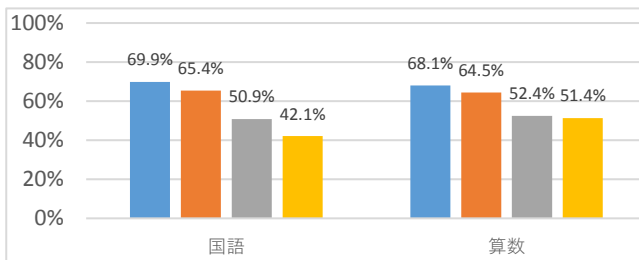
【質問：毎日朝食を食べていますか】



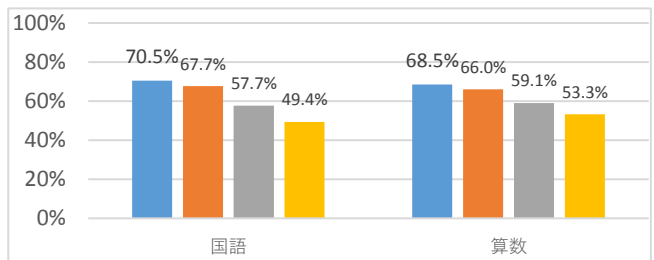
【質問：毎日、同じくらいの時間に寝ていますか】



【質問：学校のきまりを守っていますか】



【質問：家で自分で計画を立てて勉強をしていますか】



※ 縦軸は平均正答率

■ : している ■ : どちらかといえば、している ■ : あまりしていません ■ : 全くしていません

生活習慣や学習習慣に関する設問で「している」と回答した生徒は、全ての教科で平均正答率が高い傾向にあります。本市では、すべての学校で児童一人一人の家庭学習計画表を作成し、家庭学習ノートを毎日点検します。保護者の皆さまもお子様の学習習慣の定着に向け、学習計画の進み具合を確認するなど、御協力をお願いいたします。

